

県立3病院総合医療情報システム更新に係る調達支援業務仕様書

1. 業務目的

県立中央病院、県立こころの医療センター、県立こども病院（以下「3病院」という）の現統合医療情報システムは、平成29年10月に運用を開始しており、令和8年10月で導入後9年が経過する。このためハードウェアの部品供給も困難になることから、令和8年度に更新を行うように準備を進めている。

本業務は、令和8年度更新予定のシステムおよびネットワーク（以下「新システム」という）の仕様検討において、セキュリティの確保および価格抑制について、支援業務を委託するものである。

2. 履行期間

令和6年12月1日から令和7年3月31日まで

3. 業務内容

(1) セキュリティについての評価および改善提案

- ・新システムに対して必要なセキュリティ対策をとれるようにするため、発注者が提供する現システムに関するドキュメント（設計書など）から、現システムに対する脅威分析（技術的側面に限る）を行うこと。
- ・脅威分析では、医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（厚生労働省）と県のセキュリティポリシーを基準とし、システムを俯瞰的にみて、セキュリティ上のリスクを明らかにすること。（「多要素認証が使われているか」「必要な場所にファイアウォールが設置されているか」など。）
- ・履行開始から14日以内に、脅威分析計画書を提出すること。
- ・新システムのセキュリティを確保するため、発注者が作成した3病院の各新システム調達仕様書（以下「仕様書」という）に対して、（現システムに対する脅威分析の結果も踏まえ）専門的見地からセキュリティについて評価し、改善提案を行うこと。
- ・改善提案に基づき、病院の意向、システムベンダの意見、情報セキュリティを統括する部署の意見および発注者の意見を調整し、仕様書を修正すること。
- ・情報処理安全確保支援士の資格かこれと同等の資格を持つメンバーがプロジェクトに入っていること。

(2) 調達価格の抑制支援業務

- ・調達価格抑制のための市場実勢価格の情報を提供すること。
- ・要求仕様の検討にあたっては、発注者が作成する調達仕様書に対する参考見積をシステムベンダから徴取する。これと市場実勢価格などにより、専門的見地から調達価格抑制

についての具体的な手法・提案を複数示すこと。

- ・提案に基づき、発注者の作成した仕様書に対して、病院の意向、システムベンダの意見、情報システムを統括する部署の意見、発注者の意見を調整し、調達価格抑制の専門的視点で仕様書の修正を行うこと。

(3) 定例会の実施

- ・評価や提案の説明、情報共有などのため、月に1回、定例会を実施すること。
- ・定例会は、Web 会議も可とする。

4. 本委託業務の成果物

- ・業務計画書（履行開始から14日以内）
- ・本業務に基づき修正した仕様書
- ・現行システムに対する脅威分析計画書
- ・現行システムに対する脅威分析結果報告書
- ・月次業務報告（翌月10日までに提出）
- ・セキュリティについての評価および改善提案などに係る資料
- ・調達価格の抑制に係る資料
- ・打合せ議事録（3営業日以内に提出）

令和8年度更新予定のシステムおよびネットワーク

中央病院	こころの医療センター	こども病院
電子カルテシステム	電子カルテシステム	電子カルテシステム
医事会計システム	医事会計システム	医事会計システム
ネットワーク	ネットワーク	ネットワーク
診療データ統合管理システム（アストロステージ）	診療データ統合管理システム・PACS・RIS（アストロステージ）	診療データ統合管理システム・PACS・RIS（アストロステージ）
データウェアハウス	データウェアハウス	データウェアハウス
手術部門システム・重症部門バイタルGWシステム	薬剤部門システム	検査部門システム
生理検査部門システム	栄養部門システム	窓口用精算機・自動精算機
検体検査システム	検体検査部門システム	外来・会計表示板
診療情報管理システム	看護勤務管理システム	診療情報管理システム
看護勤務管理システム	診療情報管理システム	看護勤務管理システム
薬剤部門システム	診療文書管理システム	薬剤部門システム
リハビリ部門システムサー	自動精算機・ポスレジ・会計	生理部門システム

バ	表示システム	
眼科システム	仮想クライアント用 PROXY・ DNS サーバ等一式	手術部門システム
インシデントレポート報告 分析支援システム		重症部門システム
人間ドック（健診）システム		仮想クライアント用 PROXY・ DNS サーバ等一式
RIS		
POS レジ		
原価管理システム		
仮想クライアント用 PROXY・ DNS サーバ等一式		